

2023年度 宇治市地域自立支援協議会はたらく部会活動報告

1. 部会の目的

障害のある人が障害のない人とともに暮らせる地域をつくるため、障害福祉に係る関係機関が情報共有し、地域の課題解決に向け協議を行う専門部会。障害のある人の多様なはたらきについて、対角線モデル（日本障害者協議会常務理事 藤井克徳氏提唱）での就労支援を学び解決していく。

2. 活動概要

地域課題の共有や、職員の資質向上を目的とした勉強会、必要に応じて、課題解決のための調査や、行政への要望などをおこなっている。また山城北圏域就労支援部会とも連携している。

3. 主な参画団体

福祉サービス等事業所 28 箇所（生活介護、就労 A,B、就労移行、地域活動支援センター）
企業 2 箇所、障害者就業・生活支援センター、宇治公共職業安定所、宇治支援学校、
宇治市障害福祉課 計 34 箇所

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	4月27日	運営委員会
2	5月25日	全体会議 令和5年度の新体制・活動の方向性の検討
3	6月22日	運営委員会
4	7月27日	全体会議 自己評価表の作成・令和5年度活動内容の周知
5	8月24日	運営委員会
6	9月28日	全体会議 福祉人材確保についての事例報告会・事例検討
7	10月26日	運営委員会
8	11月30日	全体会議 福祉人材確保についての事例報告会・事業所紹介
9	12月21日	運営委員会
10	1月25日	全体会議 部会員交流会、次年度のとりくみについて
11	2月29日	運営委員会
12	3月28日	全体会議 令和6年度制度改定に関する勉強会

5. 現状と次年度以降への課題

昨年度考案した事業所の自己評価表を各部会員で共有。関係機関や当事者の方等が活用できるよう、今後ブラッシュアップをしていく。また、今年度は事業所が抱えている共通の課題に焦点をあて、検討した。その中から人材の確保や育成をテーマに、それぞれの事業所の工夫や、困りごとを報告してもらい意見交換をおこなった。すぐには解決できない問題が多いが、共通することも多く、はたらく部会全体でと取り組めることはないか検討を続けていく予定。また制度改正があるため、3月に勉強会を実施する。コロナの影響もあり、これまで ZOOM 会議を行ってきたが、対面の会議を希望する声も多く、1月は部会員の運営する喫茶店にてリアル開催となった。次年度はリアル開催を軸に、部会員同士の交流や、事業所紹介、事業所見学会などをもとに、情報共有をすすめていく予定。